

横川駅前交通結節点改善事業

受賞機関 国土交通省中国地方整備局広島国道事務所
広島市

事業の概要・特徴

横川は広島デルタの北部に位置し、古くから可部街道の拠点として繁栄を極めていた。横川駅周辺は、JR山陽本線・可部線、路線バス、広電江波線（路面電車）などが集中する公共交通の結節点で、広島市の地域拠点である。

しかし、路面電車の横川電停はJR横川駅から離れているうえ、横断歩道を渡らなければ、乗換えができない不便さや近年のマイカー普及などにより、徐々に公共交通機関の利用者が減少し、地域拠点としての機能が十分に発揮できない状況となっている。

また、国道54号の車線中央に電停があるため、通過交通量に対して車線数が不足し、国道54号は慢性的な交通渋滞を起こしている。

これらの問題を解消するため、国土交通省中国地方整備局・広島市・西日本旅客鉄道(株)・広島電鉄(株)・広島県警などが協力し、長年の懸案であったJR横川駅前広場への路面電車の乗り入れと広場改築を行うこととした。

これにより、広島市北部からの玄関口として、公共交通の結節点機能を強化するとともに、国道54号の渋滞緩和と沿道環境の改善を図ることで、都市機能の充実と地域の活性化が期待される。

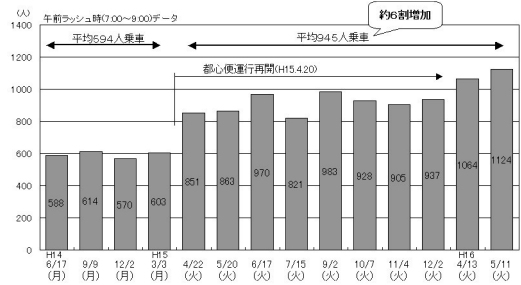
事業の効果及び成果

(1) 交通拠点としての機能充実

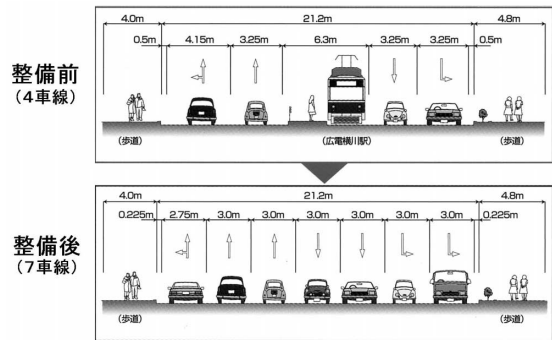
路面電車の電停を駅前広場に移設したことにより、



横川駅前広場と国道54号



横川駅路面電車利用者の推移



国道54号断面図(旧電停部)

横断歩道での信号待ちもなくなり、乗換時間が約3分短縮（移動距離：180m 40m）され、利便性が向上した。また、横川から都心へ運行する路面電車も復活し、ラッシュ時（7：00～9：00）路面電車利用者が約6割増加し、交通拠点としての機能回復が図られた。

(2) 交通渋滞の緩和・交通安全

国道54号車道中央部の電停を撤去したことによる渋滞の緩和、沿道環境の改善が図られた。(経済効果：年間7億円以上) また、駅前交差点のコンパクト化により交通安全性が向上した。

(3) バリアフリー化

超低床車両に対応した新電停や大屋根の整備など、駅前広場全体のリニューアルにより、歩道や電停の段差をなくし、勾配を緩やかにした。また、視覚障害者誘導ブロックや音声案内装置を設置しJR電車・路線バス・路面電車の乗換えがバリアフリーとなった。

賛助会員 大成ロテック(株)